

利用者用 76(68.5%) 業務用 26(23.4%)
兼用 8(7.2%) 未定 1(0.9%)
その他
設備の充実等、今後の計画等についてつぎの
意見がよせられた。

機種を増設、CDソフトの種類の実、館
員教育の実施、利用者マニュアルの整備、
学内 LAN によるオンライン検索システム
を実施予定

以上

平成2年度 目録システム（地域）講習会を開催

学術情報センターの目録システムに精通し、目録・所在情報サービスの一層の促進を図るため、同センターと本学附属図書館との共催で近畿北部地区（滋賀・京都・奈良）の大学図書館目録担当者を対象に、下記のとおり3回に分けて開催しました。

記

期 間：第1日目 ： 平成2年8月28日

第2日目～： 平成2年9月4日～7日、9月18日～21日、10月2日～5日

会 場：京都大学附属図書館地域共同利用室

受講者：国公立大学図書館から 29名

なお、第1日目には、学術情報センターの講師から「目録システム概論」、「目録情報の基準」等についての講義があり、第2日目以降は本学図書館職員講師による検索実習、登録実習等が行われた。

以上

第4回国立大学図書館協議会シンポジウム（西地区）開催される

国立大学図書館協議会は、平成2年6月に熊本で第37回総会を開き、その中で「大学図書館とニューメディア：CD-ROMを中心に」をテーマに研究集会を行いました。その趣旨を周知させ、国立大学図書館における適切な対応の方法を検討するため、シンポジウムを東西二地区の会場で開催することとし、西地区では平成2年11月1日（木）と2日（金）の2日間、本館AVホールを会場として、41大学、46名が参加して、以下の日程で開催されました。

第1日目：11月1日（木）

講演 「大学図書館のネットワーク化とニューメディア」

京都大学教育学部助教授 原田 勝 氏

講演 「CD-ROMの構造と利用上の諸問題」

京都大学大型計算機センター教授 星野 聰 氏

第2日目：11月2日（金）

「利用できるCD-ROM資料について」

コメンテーター：山中 康行 氏（京都大学）

討議 「各種CD-ROMの利用方法」

第1会場：「Excerpta Medicaの利用方法」

コメンテーター：今井 義雄 氏（大阪大学）

第2会場：「電子広辞苑の利用方法」

コメンテーター：谷口 敏夫 氏（京都大学）

第3会場：「ERICの利用方法」

コメンテーター：山田 敦 氏（金沢大学）

なお第2日目には、本館展示ホールにおいて、国文学研究資料館より「岩波古典文学体系：源氏物語」、大日本印刷社より「MANDALA」、「災害写真集」及び三業者による各種CD-ROMのデモンストレーションがあり、シンポジウム参加者をはじめ、学内からも多数の見学がありました。

以上

「平成2年度大学図書館職員講習会」の開催

大学図書館の活動を促進するため、図書館業務の最新の知識及び専門的技術を中堅職員に修得させる講習会が、平成2年11月、文部省と京都大学附属図書館の共催で下記のとおり開催され、国公私立の85大学（等）から95名が受講しました。

記

「京都会場」：京都大学附属図書館 AVホール

第1日目：11月26日（月）

開講式、オリエンテーション：文部省、京都大学

講義「大学図書館の使命」西田龍雄（京都大学図書館長）

講義「学術情報システムと大学図書館」橋爪宏達（学術国際局学術調査官）

講義「学術情報センターのデータベースの形成と運用」根岸正光（学術情報センター教授）

第2日目：11月27日（火）

講義「学術情報センターの目録システムとそのサービス」井上 如（学術情報センター教授）

講義「中国文献のデータベース化」勝村哲也（京都大学東洋学文献センター助教授）

共同討議：テーマ「図書館における情報提供サービス」

見学：京都大学文学部博物館

第3日目：11月28日（水）

講義「外国雑誌センターの活動」緑田智晴（京都大学情報サービス課長）

講義「大学図書館業務電算化の実際」隅田雅夫（京都大学システム管理掛長）

講義「CD-ROMの図書館への導入」福留武士（大阪大学医学情報課長）

見学：京都大学附属図書館

第4日目：11月29日（木）

講義「紙の劣化とその対策」村上浩二（京都大学農学部教授）

講義「今日の著作権問題」藤原章夫（著作権課法規係長）

講義「参考業務の実際」山中康行（京都大学図書館専門員）

共同討議報告 「図書館の情報提供サービスについて」

閉講式 西田龍雄（京都大学図書館長）

以上